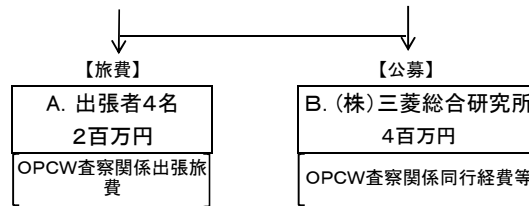


平成23年行政事業レビューシート（外務省）									
事業名	化学兵器禁止条約査察関係経費			担当部局庁	軍縮不拡散・科学部			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成7年度開始			担当課室	生物・化学兵器禁止条約室			室長 今給黎 学	
会計区分	一般会計			施策名	Ⅱ－2 軍備管理・軍縮・不拡散への取組				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第3項			関係する計画、通知等	－				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国は化学兵器禁止条約(CWC)に基づき、我が国国内において発見されている旧日本軍の老朽化化学兵器、中国において発見されている旧日本軍が遺棄した化学兵器のそれぞれを処理する義務を負い、そのための事業に誠実に取り組んでいる。化学兵器禁止機関(OPCW)は、CWCに基づき、我が国が実施するこれら老朽化化学兵器及び中国遺棄化学兵器の処理に対し各種査察を実施しており、我が国として当該査察を受け入れ、CWCの義務を誠実に実施していることを証明していく必要がある。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	OPCWによる査察の実施にあたっては、CWCの規定に従い国内当局者代表が立ち会い、旧日本軍の化学兵器に関する専門知識を提供する必要がある。このため我が国から同行者を派遣し、スムーズな査察活動への支援・協力及び査察団が作成する査察報告書に関する協議を行う必要がある。本件経費はそのような査察同行のための経費。								
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	4	3	8	12	10		
		補正予算	－	－	－	－			
		繰越し等	－	－	－	－			
		計	4	3	8	12	10		
	執行額		3	1	6				
	執行率(%)		89.1	36.6	77.3				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	(目標)OPCWが条約に基づき実施する各査察への同行を通じ、査察が円滑に実施され、我が国が条約に基づき中国と協力しつつACWを適切に発掘・回収、鑑定、保管及び廃棄していることを条約実施機関たるOPCWに確認させること。 (成果実績)平成22年度は中国遺棄化学兵器(ACW)に関し6回延べ8か所、国内老朽化化学兵器に関し1回1か所への査察が実施された。いずれの査察においても問題は指摘されず、我が国としてCWCに基づく義務を誠実に履行していることが客観的に確認されると共に、我が国のACW事業の適切性及び信頼性向上が図られた。			成果実績					
				達成度	%	100	100	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	平成22年度は中国遺棄化学兵器(ACW)に関し6回延べ8か所、国内老朽化化学兵器に関し1回1か所への査察が実施され、各回とも同行者を派遣し、査察団への同行、各種説明、現場において発出される査察報告書の分析、検討、交渉、署名等を実施。			活動実績 (当初見込み)		2	4	7	－
						2	4	7	11
単位当たりコスト	中国遺棄化学兵器査察 496(千円／8回) 国内施設査察153千円(千円／1回)			算出根拠	中国遺棄化学兵器査察経費(3,970千円)/回数(8回) 国内施設査察同行経費(307千円)/回数(2回)				
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費目		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	専門家同行経費		7,685	4,595	事業見直し、単価見直し等による減				
	外国旅費		3,575	4,886					
	内国旅費		307	200					
	計		11,567	9,681					

事業所管部局による点検			
	評 価	項 目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成22年度においては、中国遺棄化学兵器(8か所)及び福岡県苅田港の老朽化化学兵器廃棄施設に対する査察が実施された。これら査察のそれぞれに同行者を派遣したことによりスムーズな査察が実施されたのに加え、査察報告書においても特段の問題は指摘されず、我が国がCWC上の義務を誠実に履行していることが証明されることに寄与した。		
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善	事業見直し、単価見直し等による減		
縮減(事業見直し、単価見直し等による減)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

外務省 6百万円
OPCW査察関係経費



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
（「資金の流れ」
においてブロック
ごとに最大の金
額が支出されて
いる者について
記載する。使途
と費目の双方で
実情が分かる
ように記載）

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
		0			
計		0	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
謝金	OPCW査察専門家同行経費	4.0			
計		4	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	出張者A	中国遺棄化学兵器査察同行	0.6		
2	出張者B	〃	1		
3	出張者C	〃	0.3		
4	出張者D	〃	0.3		
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)三菱総合研究所	中国遺棄化学兵器査察専門家同行	4	1	公募
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					